

令和6年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	みんなの居場所・れいんぼ〜かふえ		
団体の属性	☐ セルフヘルプグループ・当事者等 ☒ ボランティアグループ等		
	☐ 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☒ 一般助成	☐ 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	湘南台ゆーすりびんぐ		
事業の目的	10代・20代の不登校・ひきこもり等の若者の社会復帰応援事業		
事業概要	10代・20代の不登校・ひきこもりの若者のフリースペース。 ひきこもり状態にあるが、一歩社会へ踏み出したい、でも就労はハードルが高い・・・そんな若者を対象に、①外出練習、②家族以外の人とのコミュニケーション練習、③新しい人や趣味との出会いの場をつくり、自分の魅力再発見や、就労への足掛かりとなる場を提供する。また、はじめは支援を受ける側として参加した若者が、徐々に新しい利用者を受け入れる側になることで、ピアサポートの場となることを目指す。ここでの経験を通し、「自分って悪くない」「これまでの経験も無駄じゃない」等感じられ、困ったときに気軽に相談できる場となることで、自死防止を目指す。 毎月第3日曜日の午後、調理やボードゲーム、ヨガなどのプログラムを行い、交流や体験の機会とする。		
成果や課題	成果：来場した若者に社会資源について伝えることができ、1名はユースサポートふじさわに、1名は自立支援につながったと報告を受けている。 課題：会場がマンションの一室だったこともあり、来場のハードルが高かったようなので、4月以降は公的機関である市民センターで開催することとした。広報も最小限しかできていなかったの、市民センターにチラシを配架するなど周知に注力したい。		
今後の展望	4月より会場を市民センターに変更し、初めてでも来場しやすいようにする。また対象を「困りごとを抱えた若者」から、シンプルに「10代20代の若者の居場所」とする。調理室を借り、調理プログラムを軸にすることで、ひきこもり状態でも自炊はできるなど自立につながる機会とする。来場が難しくとも、オンラインでつながれることもアピールし、一歩踏み出すスモールステップとする。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			